夕刊 いわき民報
発行所 平市田町 電381 1222 いわき民報社
印刷兼発行人 田原 登

映畫會、文化祭など 放課後か日曜に行う

六日制實施要項明示さる

去る二十四年四月から実施されて来た週五日制授業は去月廿三日の教育委員会で小学校、中学校並びに高等学校は昭和二十七年度より一週間の授業日を六日制に改める（但し隔週別、地域的、季節的特殊性、其の他を考慮して、教育上の効果をあげると考えられる場合は五日制を採用することができる、五日制を実施しようとする場合は予め年間教育計画をそなえて教育長に届け出るものとする」と云う六日制授業の基本線が出て廃止と決定、四月一日から三年振りで六日制に復帰することになつた、これに対し教委事務局では此の程週六日制授業の実施要項を明かにした

❶六日間に計画された授業は完全に実施するよう努力することこれがため学校は綿密な教育計画をたてることが望ましい
❷教師の研修、会合のため土曜日の外の一週一日は授業を午前中だけに計画し午後をこれに当てることができる、これがため研修の方法については現場研修中心の建前をとり自校研修計画を主とし他校との共同研修の場合はつとめて小地域の範囲にとどめること
❸完全授業実施のため諸種の会合、行事等はつとめて調整統合すること
❹教育課程に計画されていないレクリエーション的色彩の強い学校行事（映画会、文化祭、演芸会、対抗競技等）は出来るだけ放課後若しくは日曜休日等に計画すること
❺中、高等学校において五日制を採用する場合土曜日の教育計画は単に進学指導のみに終るようなことなく中、高等学校教育として望ましい効果をあげるよう留意すること
❻学校は家庭社会と緊密な連絡をとり学校教育に対する協力を求めることについて工夫すること
❼五日制を実施しようとする場合は年間教育計画をそえて年度初までに出張所長を経由して届け出ること、但し昭和二十七年度にあつては四月末日までとする

司法懇話會

會長に諸橋氏

二十六年度平裁判所管内の司法、調停委員、参与員会同は去る八日午後一時から双葉郡久野浜町潤風荘に開き懇話会々則の説明のち次の役員を選任した

▼会長、諸橋久太郎▼副会長、山崎与三郎、桑島吉之助▼顧問 福島地裁所長、同家裁所長、同平支部長▼名誉会員、地裁家裁平支部裁判官、平簡裁裁判官、地裁事務局長、家裁事務局長▼常任幹事、地裁家裁平支部、平簡裁庶務課長、地裁平支部調停主任書記官（庶務担当）家裁平支部調停主任書記官（会計担当）平簡裁調停主任書記官（同）金古政雄（平）金成キミ（同）庄司平三郎（石城）林田兵子（同）秦茂（双葉）早川峻雄（同）▼幹事、端山軍次（平）志賀庄三（双葉）

原案を承認

湯本水道委會

湯本町生水道委員会は十一日午後一時から開き二十七年度予算に就き協議四百二十九万八千二百十二円の原案を決定した、当初予算内容は事務費百八十五万円、導水路費十七万円、浄水場費七十四万八千円、修繕費十五万五千円、機械器具費三十二万円、給水装置費三十三万五千円、水質試験費二十万円等

八名を表彰

湯本署で

湯本地区署では十一日検挙成績優良者の表彰式を行い次の八名に賞品を授与した

▼受賞者七海兵己、鈴木泰三、大場純義、原田孝夫、吉田茂、穂積誠喜、新妻三郎

商業都市としての 形態を成さず

實態調査の結果判明

平市のモデル商店街（三丁目、オ組小路）の実態調査は去る一日から四日間県中小企業振興本部の主催で行われたが、その結果、次のことが明らかにされた市商工課では語っている

三丁目のセンターは現在、大黒屋、なかや洋服店当りとなっているが将来、三幸デパートやまと呉服店等に移向されていく三丁目商店街の中には非店舗のものが入っているがこれはますい傾向だ、この他各店舗毎に注意指導がなされた、オ組小路も同様、各店舗毎の指導があり特に商店街としての纏つた運動が足りない点など指摘された、なお指導に当つた東京都商工指導所商業部次長赤羽幸雄氏は「三年は経済人口二十万を包含するだけの店舗を備えている」と語つた

婦人會長會

十五日開く

平、石城連合婦人会では十五日午前九時半から平市公民館で会長会を開き四月六日平市公会堂で開催される第四回県下婦人大会の準備役員、事務分掌、大会進行計画などについて協議する

鮮魚の輸送時間を決定

国鉄平営業所主催の石城地方各浜の荷主薬者輸送打合せ会は十一日平市田町鉄道クラブに漁協組の代表者二十名を集めて開き東京方面への鮮魚列車の時間を次の通り決め来る四月一日から実施することになつた、カツコ内は現行平発時刻

▼八五四列車一八、三五（一八五五）▼八五六列車一六、五〇（一七、五六）

江名の舗装月末完成

江名町では同町大字中之作字川岸地内の道路舗装（アスファルト）工事を日本舗道株式会社が請負との程着工した、幅四米、延長二百二十米の工事で工費二百三十万円三月末完成の予定

牧野開放協議會

石城地方事務所農務課では来る十九日午前十時から双葉郡久野浜町潤風荘に開き懇話会々則の説明のち次の役員を選任した

▼会長、諸橋久太郎▼副会長、山崎与三郎、桑島吉之助▼顧問 福島地裁所長、同家裁所長、同平支部長▼名誉会員、地裁家裁平支部裁判官、平簡裁裁判官、地裁家裁平支部、平簡裁庶務課長、地裁平支部調停主任書記官（庶務担当）家裁平支部調停主任書記官（会計担当）平簡裁調停主任書記官（同）金古政雄（平）金成キミ（同）庄司平三郎（石城）林田兵子（同）秦茂（双葉）早川峻雄（同）▼幹事、端山軍次（平）志賀庄三（双葉）

内郷の幻燈會

内郷町公民館では十三日夜第一部落館、十七日内町第一部落館に午後六時から幻燈会及び部落懇談会を開き年中行事に就き協議する

朝日丸無事

小名濱に曳航

昨報＝十一日午前十一時ごろ茨城県中港東南東一〇マイルの附近で機関を故障、漂流中の太洋漁業所有第二朝日丸（六〇トン）＝船長山根伊兵衛以下十五名乗組＝は十二日午前十一時ごろ小名浜海上保安部巡視船「暁丸」に曳航され無事小名浜に入港した

衛生部會總會

明十三日開く

平安全衛生労災協会では十三日午後零時半から本社ホールで衛生部会総会を開き二十七年度事業計画及び新役員の選出を行う

出生届怠る

死亡で判明

十二年間も出生届を出していなかつた為子供が死んでもすぐ火葬認可書をもらえず育くなつた親が出生と死亡届を一緒に出してやつとも穏か明後日は波立つ

勤務が緩慢

助役から注意

平市役所では最近、職員の勤務状況が緩慢になつて来た傾向にあるので九日、伊藤助役は出勤時間勤務中等の注意を全職員に喚起した

齊天目君が出場

十八日から五日間東京に開催される全国4Hクラブ実績発表大会に県代表として勿来町4Hクラブの齊天目勝君（九）が出場する、同君は過般の県大会で〝労働記録〟を発表第一位を獲得している

勿來町のボヤ

十日午後八時半ごろ勿来町関田字北作旅館業鵜志田寄吉さん（五七）方の風呂場から出火したが発見が早かつたため天井一坪を焼いた程度で消し止めた、損害約二千円、原因は煙突の加熱から

天気予報

十二日

【今晩】北の風かなり冷え込みよい天気
【明日】北のち南の風はじめよい天気のち次第に曇を増し遂くなつて本盛り、雨上げは今晩明日とも穏か明後日は波立つ

耳の悪い級友に 七年間も奉仕

内郷高に咲いた美談

美談の主は平市下平窪字鍛冶内二一が遠つたため先にお願いして同級五内郷高等学校被服科一年生木田登子さん（一七）で小学校時代近所から通学していた同級生の木出延子さん（一七）が耳が悪いため不自由しているのに同情し平一中時代は組を同じくして自分のノートをとるのは勿論、延子さんの家庭の事情などを一前に延子さんのノートをとつてやるなど一日欠かさず温い手を差しのべ、美しい友情を称げて来たものである

▼八代教務主任談　登子さんは明朗で成績もよく級友の信望を一身に集めている、この年ごろは遊びたい盛りであるばかりでなく他人の世話などという地味なことはしたがらないのが普通なのに長年月よくやりのけて来た影が形に添うように不具の級友に附添い約七年の長い年月勉強を共にし、いばらの道を唯一途に手を取り合つて歩みつづけて来たかくれた友情美談がこのほど校内の噂にのぼり職員を感激させている

先着五百人に福引券

競輪一周年記念行事決る

▼功労者表彰▼駅前に競輪用宣伝『キリン塔』二頭を設けて外客の宣伝を計る▼毎日入場者先着五百名にスピード福引券を交付一等千円から空くじなし▼有志商店から賞品の寄附を受け

一周年記念三月平競輪は前節十五、十六、十七の三日間開催される、入場無料

全校の模範 久野君表彰

湯本中で

湯本中学校では曾て生を調査中だつたが十一日候補者四名の認定会を開いた結果三年生一組久野隆幸君（一四）を卒業式に表彰することに決定した

久野君の家庭は両親が病弱で働けずその上幼い弟妹があるため生活に困つているので、久野君は数細い腕でも働くことによつて貧しい生活の足しになろうと思い立ち幼い弟妹の世話を続きながら朝は新聞配達夕下校後は某商店に勤め汗たくになつて働いているものでけなげな少年の孝心が町の噂にのぼり学校に知れたもの

讓家

新築 平家 土地付 水道 風呂場付 委細面談 仲介お断り 姓名在社（5）

津上ミシン
鈴木ミシン商會
平市目抜町電一〇九八

酒粕 多量入荷 藤越

學用品は なんでもそろう！
ランドセル 文房具
バイロソト 万年筆 製図用品
セーラー
坂本紙店
平市二丁目（電二八）

一口で味よい！ふくよかな磐城をしのぶ
銘菓
いわきまんじゅう
カステラ式の入り……
あん入小倉……
卵入五十年の歴史……
かむで五つ持つ製造……
平を明け
豊醤に唇れた
つゝんで
パンに
パンに
栄養皮で
パンの店
毎日おいしいパンが出来ております
開花亭
平電3452

東京のケースが平に出来ました
長橋町の電平1189
吉村

いわき民報　夕刊　（可認物郵便物第三種郵便）4円（四頁）（総四頁1回1部（二頁3円）（週刊）　1カ月金80円　1部一定価（月曜除く日刊）

百萬圓横領容疑で檢擧

植田の供米代未拂問題進展

植田町字岩間小浜佐織三部落の二十六年度供出米代未拂問題に関しては既報の通り被害者農民百五十余名は管理者たる鈴木寿兵に支払方を迫つたが總に釘一向らちがあかず県食糧物産植出検査所でも捨て置けず此の上管理米（在庫約二千俵）が売り飛ばされるような事があつては一大事と去る九日トラックで検査所傍の高萩氏所有の倉庫に搬出、翌十日鈴木寿兵が進び出そうとしたのを岩間の農民坂本もく之助氏外十数名が出動搬出担否をする騒ぎとなり遂に植田地区署から警官隊が出て鎮ふつとめた結果、此の日はトラックで一台だけ運び出し殘米は運ばぬことに相互諒解し引き揚げた、被害者農民代表二十余名は八日岩間植田氏宅で緊急対策協議会を開き委員長に植田善三郎氏を推し解決の衝に当る事になり十日委員一同は供米代金を鈴木氏に支払つた常陽銀行植田支店藤田支店長に面接し支払方法に就て詰問、種々意見を交換、更に植田町役場産辺所長及び吉田助役に善後策について応援を求める処があつた、一方供出米代領収容疑で鈴木寿氏は突如十一日植田地区署に召喚され取調べを受けている、右について植田委員長は左の如く語つた

常陽銀行植出支店へ行つて調査した処我々農民の個人名義で一人一万円から一万五千円の手形を作成、而かも印鑑と委任状を偽造し九千五万余円を借り受けていた事実が判明した、五十余名のうち三四十名は同姓なので同一印鑑を使用しており而かも同一人の筆蹟である、杜撰な手形であり委任状でもある、斯様な怪しげなる書類を細密に検討もせず鵜呑みに貸出しするが如きは銀行として失態である、殊に疑惑を抱くのは銀行対鈴木との貸借関係で供出米代を相殺したのではあるまいかと私共は見ている、何れ我々農民の死活問題で未払額は小浜農民約六十万円、岩間農民五十万円、佐總六万円、計百十六万円となつている

役員を改選

磐崎青年會

磐崎青年会では十日午後七時から役場会議室に幹部会を開き役員改選を行い次の通り決定した

▼会長＝国井宣佳▼副会長＝吉田佑久▼副会長＝助手佐川千早子▼文化部長＝佐川和平▼厚生部長＝遠藤昭彦▼体育部長＝石井孝太郎▼家政部長＝野木晃佳子▼図書委員長＝鈴木恵美

家庭看護法講習會開く

廿一日江名

江名町公民館では家庭看護法講習会を二十一、二十二、二十三の三日間同町隣保館で毎日午後一時より開く、講師は日本赤十字社福島支部関場栄女史、受講は無料

特審局員の傍聽

被告ら退廷要求

きのう午後容共派併合公判

平事件容共派併合第二回公判二日目の十一日午後は一時十分に開き次回の証拠調べの公判期日をめぐり鈴木（磐）日野、松木、村上、鈴木（光）の各首魁被告が発言を求め『我々の防ぎよ権、生活権を完全に守るために』月二回、四日間の開廷を主張して裁判長に食い下がれば大塚弁護人は『毎公判に法務府特審局員が傍聴席で傍聴人を監視するなど旧特高的行動をとつているがこのような不穏な考えを持つているものは退廷させるべきだ』と要求、これに対し高橋検事は『公判の傍聴はあらゆる社会層の人々の自由だ』と反ばく、被告のヤジを一かつして『今後の公判期日も従来通り月四回、八日間を希望する』と述べて十五分休廷二時二十五分再開鈴木（磐）池田金、鈴木（光）各被告らは『特審局のスパイを追い出せ』と述べて裁判長に詰め寄つたが山田裁判長は『退廷させる理由はない』とあツオ漁獲戦が華々しく開始されたはえイワシを積んで九日漁場に向けて出航し南西諸島アクセキ島近海にカツオ群を追つているが、この附近は鳥何カツオ群が見られるがまだ本格的に操業していない、然し天候がよいのでえ行がよければ期待出来そうだとあり現地では一航海千貫から五千貫見当で平均一千貫内外と言つた漁況だとうち江名から出漁した白鳳丸も同船と六百貫程度の初漁に恵まれた模様でこゝでは早くも本県船による力

吊し上げ公判開く

植出土監所職員吊し上げ事件の阿部止三ら八名の第二回公判は十二日午前十時半から地裁平支部に寄木裁判官係り、中村検事、自由法曹団大塚弁護人立会いで開かれ証人尋問が行われた、山田河川工事現場で吊し上げられ傷を負わされた土監所職員伊藤国之助技師は弁護人、被告らの暴行時の状況の質問に対し記憶がそう失したらしく全然答えなかつたため興奮した大塚弁護人は『法廷をアマくみている、その態度は何んだ』とやれば裁判長もたまりかねて『はつきり答えなさい、忘れたことは忘れたでいいのだ』とたしなめた、尋問は続けられ『胴上げされて川に投げ込まれようとしたことは覚えているが具体的な記憶はない』と被告に不利な証言をして正午休廷、午後零時半再開され証人尋問が続行された

期待出來るカツオ漁

九州遠征の指導船から便り

小名浜漁業用産業無線局への入電によるとカツオ漁のため九州へ遠征した県指導船共盛丸（一二八㌧）

日平線工事近く着工

突貫工事で八月完成豫定

日和田―平十五万Vの送電線建設所では既々来る中旬ごろから送電用鉄塔架設の基礎工事に着手、突貫工事で八月末には完成させると意気込んでいる、請負者は中日本重工業会社、日立造船、日本橋梁の三社に決まり、使用鉄塔二百十三本、重量五百八十㌧が近く続々と郡山、谷田川、小野新町、平の四カ所へ運送される筈である

鑛區を種に廿萬圓詐取

平地区署では十二日岩手県胆沢郡水沢町遊技場主斎藤㊂を詐欺容疑で身柄送検した、金は昨年十二月三日午後六時ごろ赤井村大倉地内の石炭鉱区を種に同村赤井字田中精米業新製富代治さん㊂から二十万円を詐取したもの

少女盗む

湯本町天王崎四〇無職某女（四）は一月下旬ごろ湯本町三函丸丹洋品店から陳列してあつた木綿一反（四百廿円相当）更に二月初旬ごろにも同地内大和田呉服店から木綿反物一反（三百五十円相当）を盗み七日湯本地区署員に捕まつた

パチンコ玉盗む

平市菖子町無職遠藤栄㊂は七日午後九時ごろ平市田町伊東パチンコ店内でパチンコの機械に針金を突つ込んで玉三十個を盗んだところ現行犯で平市署員に捕まつた

花トバク

湯本町笠井四採炭夫落合治三郎㊂ほか三名は七日午後八時ごろ落合宅で一回三十円から五十円を賭け花札トバクを行つているところを現行犯で湯本地区署に捕まつた

オーバー盗む

若松市南町生れ住居不定無職伊藤昌房㊂は四日夜平市二丁目小倉洗濯店からオーバー一着（一万円相当）を盗み現行犯で平市署員に捕まつた

幼兒變死二件

◇赤井村大倉雑貨商佐藤金さん㊂の四女末子（生後七十五日）が十一日午前一時ごろふとんの中で変死しているのを同人妻アキヨさん㊂が発見、平地区署と同村医師が検死した結果双生児兄妹の常夫ちゃんと共寝しているうちにふとんの外に転げ出し窒息のためショック死したものと判つた

◇小名浜町上横町二二自動車運転手渡辺光雄さん㊂の長女三枝子ちゃん（生後一カ月）は十日午前六時ごろ布団で窒息死しているのを渡辺さんの妻ノメさん㊂が発見小名浜地区署に届け出た

土工盗む

内郷町高坂字御殿一別子建設土工伊藤義夫㊂外二名の土工は共謀で十日午後四時半ごろ常磐炭鉱内郷坑遠炭場附近から同炭鉱所有の古鉄十五貫千円相当を盗みリヤカー運搬中現行犯で内郷地区署に捕まつた

自轉車泥棒

内郷町綴字町の内無職桑田道夫㊂は去る一月十一日午前二時半ごろ植田町平職安植田分室事務所に忍び込み中古自転車一台二千五百円相当を盗んだ疑いで九日湯本地区署に捕まつた

汚職追徴金未納で差押

平区検察庁では六日平市田町五〇文房具商橋本喜春氏㊂＝元大蔵事務官＝に対し初めての財産差押えの徴収命令を執行し十九日公売されることになつた

橋本氏は昨年秋税務署勤務当時の汚職事件に関し二万五千円の追徴金が昨年三月に確定、その後数回にわたつて督促されたが納入しなかつたためまた同庁では二十四年から現在までの約五百万円にのぼる未納額金並に追徴金の未納分について係官が連日調査しているが来る十日から未納一掃の為現地に出張して收監並に徴收命令の執行を指揮する

窃盗機盗まる

内郷町綴内向二年生渡辺武喜君㊂＝は九日午前九時二十分ごろ平駅内ホームで混雑中セミプランド写真機一台（二万二千円相当）を盗まれた

ラジオ

ローカル　平放送（13日）

前㊐・五　春のラジオクラブ『音楽』安積郡二本松町小児麻痺・ポ・タのまつい　アンケート『社会に望む』中高大学生徒卒業生

通学服は　ちかや

診療科目
◇外科◇整形外科
◇内科◇皮膚泌尿器科
◇レントゲン科
労災保険指定医　【入院設備あり】
石城郡上遠野村
上遠野村診療所
所長　橋田敏也　武川藤吉郎

いつも縫いよく美しい!!
ブラザーミシン
家庭用　職業用　工業用
特約代理店　石川ミシン商會　平市二丁目　電1232

青春會議
原作　石坂洋次郎
13日より17日まで
春風に乗つて訪れる青春映畫の豪華版
杉葉子　岡田まり子　伊豆肇
小泉伝（新人）　三宅邦子
ひかり座

特製　中華そば　出前迅速　ブラジル

新輸入原料製品
品質日本第一位
リスカレー
最高の品質を御賞味下さい
姉妹品＝リスコシヨー　リス洋カラシ　風味無類七味唐カラシ

信頼出來る商品
万年筆は専門店へ
岡萬年筆店
平市中央通菅三九九

優秀選手多數參加
開場一周記念
自転車競輪
11時発走
場外車券發賣
入場無料　郡山駅前　平市三丁目
3月15 16 17 21 22 23
★自動発走装置完備☆先着入場者毎日50名様にスピードくじ進呈☆1等千円2等皮財布3等柱かけその他空くじなし★紅白ラツキーガードで1万円当る